

# 1 教育目標

## (1) 本校の教育目標

校訓を基底におき、「自己存在感や自己有用感を高め、自ら成長できる子」の育成を通して、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを目指す。

校 訓	めざす児童像	具 体 目 標
○ なかよく ○ がんばる ○ やさしい子	自己存在感や自己有用感を高め、自ら成長できる子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合い、考えを広げたり高めたりする子</li> <li>・意欲的な姿勢で学び、基礎学力を高める子</li> <li>・進んであいさつをして自分を開く子</li> <li>・明るく、思いやりを持ち、人権感覚を高める子</li> <li>・体を鍛え、主体的に運動する子</li> </ul>

## (2) 経営方針

全教職員が教育愛と情熱を持って家庭や地域と連携・協働しながら、4つのアプローチからなる来迎寺スタンダード【「わくわく」学びづくり・「いきいき」心づくり・「すくすく」体づくり・「どきどき」絆づくり】を充実させることで、SDGs 未来都市の一員としての資質を高める。特に、自己存在感や自己有用感の獲得を支援することを通し、「この仲間とだから分かった」「この仲間とだから成長できた」と感じられる魅力ある学校づくりを推進する。

## (3) 本年度の重点努力目標

### ア 確かな学力の育成（知） — 【「わくわく」学びづくり】

- ① 課題解決的な学習過程を構築し、仲間と学び合い高め合う機会を継続的に設定する。特に、SDGs 未来都市の一員としての意識を高めるために、17の目標に対応した系統的な学習活動からなる総合的な学習の時間を推進する。以上を通して「主体的・対話的で、深い学び」を実現し、「学ぶ楽しさ」を実感できるようにする。
- ② 学びのユニバーサルデザイン化や、タブレットの活用を通じた個別最適化された指導と支援体制の充実に努めることで、「分かるうれしさ」を実感できるようにする。

### イ 豊かな心の育成（徳） — 【「いきいき」心づくり】

- ① 「自分を開き、相手に寄り添うあいさつ」の習慣化を通して、社会性を高め、自己肯定感を醸成する。
- ② 心に響く道徳科の授業の展開や、多様な体験活動の充実を通して、命を尊ぶ態度や人権感覚の醸成、規範意識の高揚等、教育活動全体で豊かな道徳性を培う。
- ③ 医療や心理学の専門家と情報共有や連携・協働を図るケース会議（必要に応じて）やカンファレンス（定期的）等を設定し、特に支援が必要な児童を多面的・多角的に理解する。

### ウ 健やかな体の育成（体） — 【「すくすく」体づくり】

- ① 授業、放課等の時間を効果的に活用したり、手軽に運動ができるような設備の充実を図ったりすることで、主体的に運動したり体力を高める姿勢を育てる。
- ② 食育の推進を通して食生活に関心を持ち、自らの健康を適切に管理・改善していく資質や能力を養う。

### エ 自己存在感の育成 — 【「どきどき」絆づくり】

- ① 自他を認め合う場を意図的・継続的に設定したり、児童の学級での状況を把握する客観的な調査を効果的に活用したりすることを通して、確かな絆づくりに努める。
- ② 当番活動や係活動の充実とキャリアプランニング能力の育成に努める。

### オ 学校・家庭・地域の連携と協働を通した「地域とともにある学校」づくり

- ① 防犯・防災体制の充実を図り、安心して学習・生活することのできる魅力的な教育環境づくりに努める。
- ② 学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。

### カ 教職員の資質向上と働き方改革の推進

- ① 校内外での研修・研究機会を継続的に確保することを通して、個々の教員としての資質の向上に努める。
- ② 学校マネジメント力を強化し、教育活動と勤務体制の見直しを図ることを通して、多忙化解消を推進するとともに、個々の教員の望ましい働き方や生き方の実現を図る。